

建築家・隈研吾氏おめでとうプロジェクト「新国立競技場設計採択記念」

広重朗読座

紺野美沙子朗読会

詩人・茨木のり子の世界 ～心にしみる昭和の名曲とともに～

2016年

9月17日(土) 【開場】18:00
【開演】18:30

那珂川町馬頭
◎会場◎ 広重美術館特設会場

◎観覧料◎ 一般 3,000円 高校生以下 1,500円
※未成年者のお入場はご遠慮ください。



中村由利子(ピアノ)



PAPAS源太(ギター)



マサ大家(ギター)



紺野美沙子(朗読)

主催 那珂川町馬頭広重美術館

企画 JOZOCAFE / ギャラリー雪月花

チケット発売所 馬頭広重美術館・那珂川町観光協会・
JOZOCAFE / ギャラリー雪月花・
那珂川町小川庁舎内生涯学習課

お問い合わせ 那珂川町馬頭広重美術館 ☎0287-92-1199



(会場案内)
那珂川町馬頭
広重美術館



地図QRコード



2015年9月5日「広重朗読座 紺野美沙子の朗読」

那珂川町馬頭広重美術館と隈研吾氏

那珂川町馬頭広重美術館は、世界的に活躍している建築家・隈研吾氏の代表作として知られ、「隈建築スタイル」の原型とも云われています。

隈研吾氏の設計による那珂川町馬頭広重美術館は、「広重の芸術と伝統を表現する伝統的で落ち着いたある外観」をコンセプトとし、自然豊かな那珂川町の景観に溶け込むよう、ゆったりとした平屋建てに切妻の大屋根を採用しました。美術館全体は、地元産の八溝杉による格子（ルーバー）に包まれ、時間とともに移りゆく光によってさまざまな表情を見せます。内装にも地元の材を使い、壁は烏山和紙、床は芦野石でできています。また、この建物は、もともとこの場所にあった専売公社の木造倉庫をモチーフに、広重の代表作である江戸百景「大はしあたけの夕立」からインスピレーションを受けて設計を進めた、と云われています。

隈 研吾氏 Kenjo Kuma

建築家

1954年横浜生まれ。1979年東京大学建築学科大学院修了。東京大学工学部建築学科教授。
2001年馬頭広重美術館（現・那珂川町馬頭広重美術館）で第14回 村野藤吾賞を受賞。2002年「那珂川町馬頭広重美術館」をはじめとする木の建築でフィンランドよりスピリットオブ・ネイチャー 国際木の建築賞を受賞。2010年「根津美術館」で毎日芸術賞を受賞。近作にサントリー美術館（2007年）、根津美術館（2009年）、GINZA KABUKIZA（2013年）など。2020年に開催予定の東京オリンピックのメインスタジアムである新国立競技場の設計は、隈氏の「A案」が採択された。



募集

皆さんの「昭和の思い出の曲」のリクエストを
短いエピソードとともに募集しています。

応募用紙は
チケット発売所に
用意しております。

ご応募の中から何点かを、紺野美沙子さんが当日のステージでご紹介し、ミュージシャンが演奏致します。
あなたの「昭和」を、ぜひお寄せ下さい。

公演時間帯は肌寒くなる可能性がありますので、念のため上着をご用意下さい。

※当日は馬頭広重美術館の開館時間を18時まで延長致します。

※広重朗読座入場券をお持ちの方は、当日に限り、馬頭広重美術館に無料で入場できます。